

仏教壮年の声

備後教区 評議員 神田敏行

この1年は、コロナ禍にあって仏教の活動は自粛せざるを得ませんでした。
なかなか終息のめども立たず、互いの命や生活を守りながら、どのような活動ができるのか、
簡単には答えの出せぬ日々でした。

その様な中でも、教務所を預かる先生方のご配慮により、感染症対策を取りながら、ご法座が
年間を通して開催され、ご聴聞の機会を絶やすことのないようご尽力いただきました。

また、去る2月14日には、初めての試みとして、仏教壮年会連盟の中央研修会がweb（オンライン）にて開催され、備後教区から2名の方に教務所よりご参加いただきました。

いつでしたか、法語カレンダーに書かれていたお言葉に、「われらは善人にもあらず 賢人にも
あらず」というお言葉がございました。

どの様な活動をするにしても、自身の胸に留めておきたいものです。

しかし、すぐ忘れてしまうのが、この私です。

故に、繰り返し、繰り返しご聴聞を続けて行く他はないのだと思うのです。

合 掌